

# 9月 ぽっかぽか

7月から始まったプール遊び！！はじめは雨続きで、なかなかプールに入れず残念そうにしていた子どもたちでしたが、7月中旬には梅雨も明け、思う存分プール遊びができて嬉しそうです。

水を怖がり顔にかかることを嫌がったり、大きなプールを見て入るのをこわがる姿が見られましたが、今では自分ですくった水を自分にかけて、全身水に浸かってワニさん歩きやバタ足を試みたりと、全身で水遊びを楽しんでいます。



## ♪ 言葉で伝えよう ♪

「今日のごはんなに？」だったり、「家で～したんだ！」「みて！～できたよ」など子ども達から自分がした経験を大人へ伝えることがぐっと増えました。そんなときには、顔を見ながら、子どもの話したことを真似して繰り返すようにしています。そうすることで子どもは「聞いてくれてる！そうなんだよ！」とうれしそうな表情をみせてくれます！そして、大人も会話を楽しみながら「楽しかったんだね」とその子が感じたことを考えながら気持ちの言語化をしたり、質問を試みたり、会話を膨らませながら言葉で伝える楽しさへつなげていけたらと思います。

大人とだけではなく、積み木や紐通し、おままごと、水遊びなどなど、様々な遊びを通して友だちと関わる姿、一緒に過ごす姿も増えてきました。「かして」「い～れ～て」「いっしょにやろう」「いいよ」「どうぞ」と言葉で友だちへ伝えられることも増えています。「みどりにするんだ」「わたしはあかにしよう」など言葉を通して友だちと関わる、会話を楽しむ姿も多く見られるようになりました！

また、「だめだよ」「やめて」と自分の意思を言葉で伝えようとする一方で強い口調になったり、手が出たりすることもあります。うさぎ組では、まずは大人が仲立ちをしながら、言葉で伝える練習をしています。例えば、ものの貸し借りの場面では「使いたいんだね」と気持ちを言葉にし、「かしてって言ってみよう」と言葉で伝えることを促すようにしています。できた時には「言葉で伝えられてよかったね！」「とってもすてきだったよ！」と褒めると、「にっこり(\*^^\*)」と子どもたちもうれしそうにします。やりたいことや自分の意思を言葉で伝えられたという沢山の成功体験をすることで、さらに友達との関わりが増え、遊びが発展していくよう見守りながら関わっていきたいと思います。

